

科学大好き 徹底研究

西区 九州の15高が発表会

高校生による自然科学の研究発表会「サイエンスインターハイ」が26日、熊本市西区の

6回目。参加者は「火山灰を用いた防音壁の研究」「川の流域の洪水シミュレーション」

が26日、熊本市西区の

理科系学科、部活動

崇城大であり、九州6

の高校生に発表の場を

県15校の約470人が

提供し、学習意欲を高

めてもらうのが狙いで

した。

同大教授らにアピールした。

第二高理数科3年の

上田夏也君は、立田山

のヤエクチナシを好む

ガの一種「オオスカシ

バ」を研究。「幼虫と

成虫に分けて半年間観

察した結果、成虫がヤ

エクチナシに付き、産

卵しているのが分かっ

た」と発表した。

(西島宏美)

上位成績は次の通

り。グランプリ 香住

丘高(福岡)▽準グラ

ンプリ 宇土高、国分

高(鹿児島)



サイエンスインターハイで研究成果を審査員に説明する高校生
＝熊本市西区